

歯科医院で発生する緊急事態とは何かを考えてみましょう。明らかに「意識・反応があり」が多く、ただ具合が悪いと判断されることが圧倒的に多いことは容易に想像できます。一次救命処置を知っておくことはもちろん必要ですが、それに遭遇するのは、おそらく歯科医師が一生のうちで一度あるかないかでしょう。発生頻度から、遭遇しうる緊急事態の多くが「意識ある」状態ですから、まず即座に、そして間違いなく分析し、対処できることが重要であると考えます。

(著者序文より抜粋)



歯科緊急事態に必要な最低限の処置を厳選！  
 劇画でみるアルゴリズムの緊急処置！

# 劇画でみる これだけはしてほしい

歯科医院の

## 緊急対処

BLS  
ポスター  
付き

AHAガイドライン2005準拠

瀬尾 憲司／著

B5判／88頁／2色刷

定価3,780円(本体3,600円+税5%)

ISBN978-4-263-44240-1



●対象の患者さんを成人と小児に限定、緊急事態の想定例を最低限に厳選し、一人、二人の歯科医師とスタッフが一緒に確実に行うべき最低限の処置と手技を劇画タッチのイラストでクリアに図示。「要点！」を欄外に明記。安全な歯科医療実践のための必携すべき本！

●緊急対処に必要なとする器械・薬剤の種類も、安全性を重視して最低限の種類を厳選。

●歯科医院内で発生した緊急事態に対し、歯科医師が独自の判断で対処できること、また対処しなければならないことについての流れ図(アルゴリズム)はアメリカ心臓協会(AHA)の一次救命処置(BLS)に準拠。

●楽しく読める「Q&A」を随所に挿入。日常の疑問に明快・簡潔に答えます！

●臨場感あふれる場面がリアリティーに描かれた、本書中の劇画「ある日、歯科医院で」からは、何をどう判断し、どう対処すればいいかが、たちまちわかる！

### 主な目次 C O N T E N T S

#### I. 緊急事態で使用できるように準備するもの

- 1- 歯科医院内で生じうる緊急事態に限って準備するもの
- 2- 選ばれた器械、薬剤がどうして必要なのか、その理由？

#### II. 「対処法」の流れについて

#### III. 歯科緊急事態のアルゴリズムの説明

- 1- まず意識の確認、しかしその前に
- 2- 意識レベルの有無の確認
- 3- 自発呼吸の確認
- 4- 呼吸苦の確認
- 5- 胸痛の確認
- 6- AEDを使用した治療アルゴリズム
- 7- 「意識なし」「自発呼吸あり」の場合の進め方

#### IV. アメリカ心臓協会の示した一次救命処置とは？

- 1- 救助する者が2人以上いる場合
- 2- 救助する者が1人しかいない場合

#### V. 救命処置の実際

- 1- 成人の救命処置
  - 2- 小児の救命処置
- 補足- 乳児の救命処置

#### VI. 気道異物の排除

- 1- 成人、小児の場合
- 補足- 乳児では

■劇画 「ある日、歯科医院で」

■付録 Basic Life Support(BLS)一覧表(ポスター)



医歯薬出版株式会社

〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10 TEL.03-5395-7630 FAX.03-5395-7633 <http://www.ishiyaku.co.jp/>